

〔国際会議〕

申 請 者	東京大学 生産技術研究所 教授 藤井 輝夫	2025010
研 究 集 会 名	第 16 回化学・生命科学マイクロシステム国際会議 The 16th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences	
開 催 期 間	平成 24 年 10 月 28 日～11 月 1 日	
開 催 場 所	沖縄コンベンションセンター	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

本会議は、本助成を始めとする多くの団体・企業からの支援・賛助の下、沖縄国際会議場において 5 日間にわたり開催された。会議の学術的内容としては、微細加工技術・微小流路技術・MEMS 技術など、マイクロ・ナノ科学における最先端の基礎技術開発から、それらの化学・生化学・医学等への応用に至る、幅広い研究発表が行われた。既存の化学・生化学分析装置や診断装置とは大きく概念の異なる、微小システム・微細加工・微小流路をキーワードとする最先端の研究結果が多数報告されており、それらの多くが高く注目されていた。また、本会議は当研究分野に関する世界最大の学術会議の一つであり、33 の国・地域より 900 名を超える参加者があり、600 件以上の発表がなされた。口頭発表・ポスター発表のいずれにおいても活発な議論や意見交換がなされ、研究交流の場としても非常に有意義であった。なお、全体の 3 分の 2 は海外からの参加者であり、日本国内で開催される国際学会としては、海外からの参加者割合が非常に高く、この点は特筆すべきことである。さらに、優れた学生発表に対する表彰も行われ、研究者を目指す学生を奨励する活動として有意義であった。また、国内外の 30 以上の企業・団体からの展示もなされ、産学連携や企業技術プロモーションのための機会を提供することもできた。

以上をまとめると、本会議は学術レベルが高度であり、参加者の数・国を含め世界的に最先端をいく研究者間での学術交流が活発に行われ、産業界との交流も活発であり、さらにまた、論文集発行・会議の運営などが円滑に進行した点など、いずれにおいても大きな成功であり、きわめて有意義な会となった。